

3

我が国の国際競争力を強化するために国際水準の港が必要

アジアでも、世界でも、日本の港の国際競争力の相対的な地位が低下している。

四方を海に囲まれた日本にとって港湾は欠かせない。港湾の整備と拡充が求められている。

我が国の主要港の相対的地位の低下

コンテナ取扱量全体は増加しているものの相対的地位は低下

1980年

1	ニューヨーク/ニュージャージー	1,947
2	ロッテルダム	1,901
3	香港	1,465
4	神戸	1,456
5	高雄	979
6	シンガポール	917
7	サンファン	852
8	ロングビーチ	825
9	ハンブルク	783
10	オークランド	782
12	横浜	722
16	釜山	634
18	東京	632

2003年 ()内は2002年の順位

1 (1)	香港	20,100
2 (2)	シンガポール	18,100
3 (4)	上海	11,280
4 (6)	深圳	10,610
5 (3)	釜山	10,367
6 (5)	高雄	8,840
7 (8)	ロサンゼルス	7,180
8 (7)	ロッテルダム	7,100
9 (9)	ハンブルク	6,138
10 (10)	アントワープ	5,445
⋮		
17 (20)	東京	3,280
28 (26)	横浜	2,469
- (31)	名古屋	2,074
- (29)	神戸	(2002年の数字)1,993

単位：千TEU

出典：CONTAINERISATION INTERNATIONAL YEAR BOOK (1980年及び2002年)
March 2004 Containerisation International (2003年)

アジア主要港のコンテナ取扱量

アジア諸国のコンテナ取扱量は飛躍的に増加

